



# みちしるべ

令和6年1月19日

## 出願、志願変更について・・・

私立の受験がスタートする中、次は公立の受験に向けての準備が並行して始まりました。学級では、願書の書き方の指導を行っているところです。1月31日（水）の公立とりまとめ日に向けて、出願書類の提出をお願いします。出願書類の中には、学校によって提出しなければならない書類が異なります。学校のHPや担任の話をよく聞き、余裕を持って行動・計画を立てていきましょう。もし出願書類について質問があれば、すぐに学校にご相談ください。

### 1、出願について

※2月6日(火)は、水①～③・給食・下校の日程です。

- ・給食後に出願校グループ同士で出願に行きます。出願終了後は自宅に戻り、グループのリーダーは学校の携帯（090-9202-5196）に連絡する。翌日、担任の先生に受理証、高校からの確認書類を渡します。
- ・茨城公立は、学校から郵送出願します。受検票は、後日担任からお返しします。
- ・東葛飾高校、県立柏高校、市立柏高校などのインターネット出願を要する学校では、1月16日（火）～2月5日（月）の期間で出願登録が可能になっています。ご家庭での出願準備をよろしくをお願いします。

#### ～出願書類について～

- ①願書（学校で作成中！）
- ②調査書（担任の先生作成）
- ③その他、自己表現検査が求められている用紙など

※ ③の書類についてはご家庭でもよく確認をしておいてください。なお、今年度より変更点があり、選抜結果通知用封筒（長形3号、84円切手）は県立高校では提出しないことになりました。市立高校では必要になりますのでご準備よろしくをお願いします。



### 2、志願変更について

志願の変更が1回のみ認められています。出願最終日の翌日に新聞発表で倍率が掲載されます。また、県教委のHPでも当日夕方か、翌日に発表されます。志願変更後の倍率は、高いところは低く、低いところは高くなる傾向があります。受検生の不安感、書類などの手続きの煩雑さを考えると避けた方が安心感があります。特に公立のみの受検については、よく検討していただければと思います。なお、志願変更の手続きは、時間があまりないため、原則保護者をお願いしています。

志願変更の流れについては、右側をご覧ください。

## 千葉県公立高等学校志願変更について

～確認すること～

- ①原則保護者が志願変更を行うので、保護者と担任で連絡を取ってください。何かあった場合には、家庭で動いて頂くことになります。
- ②志願変更の可能性は事前に担任に伝えてください。
- ③当日に使う書類は事前に担任からもらい、準備しておいてください。

**事前** 志願変更願（様式10）・調査書、新しい出願先の願書（要写真）（生徒）

**当日中学校に提出** 志願変更願、新しい出願先の願書、志願変更元の受検票

**中学校より交付するもの** 志願変更願（校長印あり）、新しい出願先の願書、志願変更元の受検票、新しい調査書

※調査書は開封厳禁です。（無効になります）

**志願変更元の高校へ提出** 志願変更願、受検票 → 志願取消証明書・封筒・必要に応じて返却される書類

**志願変更先の高校へ提出** 志願取消証明書・封筒・願書・調査書

※受理票は本人を通じて必ず学校に持参してください。

～当日の流れ～

令和6年2月14日(水) 志願変更の流れ

- ①新聞発表(変更するかしないかを必ず担任に報告)

↓ <変更する場合>

- ②本人が8:30までに担任に**願書**・**受検票**及び**志願変更願**を提出する。

↓

- ③保護者が書類を中学校に取りに来る ☆渡すもの：志願変更願・願書・調査書

\*時間及び受け取り方法を担任と要確認 来校時間(準備もあるので9:30以降になります。)

↓

- ④保護者が志願変更元の学校に行く。

☆提出するもの：志願変更願・受検票

☆もらうもの：志願取消証明書・封筒

↓

その他、高校から受け取る書類

- ⑤保護者が志願変更先の学校に行く。

☆提出するもの：志願取消証明書・調査書・封筒・新たに作成した願書・封筒

※受理証を学校に提出してください。

### 志願変更時間

令和6年2月14日(水) 午前9時～午後16時30分まで

令和6年2月15日(木) 午前9時～午後16時まで

\*不備があった時の対応を考え、2月14日(水)に志願変更を行ってください。

※茨城県の志願変更は2月16日(金)、19日(月)になります。

志願変更については、家庭で本人とよく話し合った上で結論を出してください。

特に志願変更は、家庭の負担になったり、期間が短いため、不備があった場合に日数がかかってしまうリスクがあります。なるべく志願変更をしない方が、受験の際の安心感にはつながります。また、倍率が低いところに流れる傾向があるため、最終的に倍率が落ち着くことが多いです。特に公立のみの生徒は、事前にしっかり相談しておいた方が良いです。メ切時間など確認の上、手続きを行ってください。